



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月14日

上場取引所 東

上場会社名 あかつきフィナンシャルグループ株式会社
コード番号 8737 URL <http://www.akatsuki-fg.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島根 秀明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員社長室長 (氏名) 川中 雅浩

TEL 03-6821-0606

四半期報告書提出予定日 平成26年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	1,381	△21.9	1,199	△27.9	121	△81.1	153	△81.7	338	△51.3
26年3月期第1四半期	1,769	139.9	1,663	134.6	639	—	839	278.7	695	276.9

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 261百万円 (△63.3%) 26年3月期第1四半期 711百万円 (332.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	23.99	21.81
26年3月期第1四半期	58.76	42.83

当社は平成26年3月11日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	23,740	9,250	33.6	564.60
26年3月期	25,824	9,181	30.5	559.35

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 7,987百万円 26年3月期 7,875百万円

当社は、平成26年3月11日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	15.00	—	15.00	—
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

・上記記載の26年3月期期末配当金の内訳は、普通配当10円00銭、特別配当5円00銭となります。

・26年3月期期末の配当金は平成26年3月11日に普通株式1株を2株とする株式分割の効力の発生を反映しております。なお、平成26年3月期第2四半期末の配当金につきましては、当該株式分割前の実際の金額を記載しております。

・27年3月期の配当予想は、現時点で未定となっております。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

当社グループは、投資金融サービス業を営んでおり、事業の特性上、株式市況・為替相場・商品市況の動向により大きく影響を受ける傾向があります。このため、業績予想を公表することが株主・投資家の皆様の合理的な投資判断の形成に有用とはいえないため、業績予想の開示を控えさせていただきます。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	14,587,660 株	26年3月期	14,523,160 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	439,913 株	26年3月期	442,762 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	14,110,848 株	26年3月期1Q	12,290,105 株

・当社は平成26年3月11日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数を算定しております。
・期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)の算定上控除する自己株式数には、従業員インセンティブ・プラン「株式給付信託(J-ESOP)」制度に係る信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有している当社株式を含めております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結会計期間(平成26年4月1日から平成26年6月30日まで)において、期首に14,000円台で始まった日経平均株価は、ウクライナ情勢の緊迫化や日銀による追加緩和期待の後退等を受け、4月に14,000円を割り込みました。その後、中国経済指標の改善や米国株式市場の上昇、政府の成長戦略への期待感等から上昇に転じ、6月末に15,162円で取引を終了しております。

このような市場環境の中で、当社は、当社グループ全体として経営基盤の拡大を図るべく、証券関連事業におけるリテール営業の強化に加え、アセットマネジメント関連事業やコンサルティングサービスを通じた顧客チャネルの多様化に取り組んでまいりました。また、前連結会計年度より当社グループ関連事業強化のために調達しております「あかつきフィナンシャルグループ(株)無担保社債」につきましては、一部をグループ戦略としてのアセットマネジメント事業の強化に充当すべく、NSホールディングス(株)との資本業務提携及び同社子会社が組成する高齢者向け住宅特化型の不動産ファンドに出資予定であり、今後も資金需要にあわせ調達を予定しております。

当社グループの中核会社であるあかつき証券(株)におきましては、収益基盤の拡大と顧客資産の多様化を図るべく、タイムリーな商品戦略を行ってまいりました。同時に、販売チャネルの多様化を図るためのIFA(金融商品仲介業)ビジネスの強化にも取り組み、仲介業者契約社数につきましては、3月末より10社増加し、6月末には38社に増加いたしました。また、マーケット環境・投資家ニーズに応じた各種投資セミナーの開催、新規口座・NISA口座の獲得等の収益拡大に向けた各種施策に加え、5月には為替証拠金取引(FX)及び株価指数証拠金取引(CFD)の取扱いを開始すべく豊商事(株)との業務提携を結び、商品ラインナップの拡充と新たな顧客層の開拓に取り組んでおります。

ドリームバイザー・ホールディングスグループにおきましては、ウェルス・マネジメント(株)において前連結会計年度より稼働を開始したホテルファンド組成に伴う賃料収入や当該ファンドにかかる匿名組合分配益を計上したほか、既存の受託案件に伴うアセットマネジメント収益も計画通り推移いたしました。また不動産仲介の新規案件の獲得、「NSJ日本証券新聞」と連携させたIR支援活動の強化等、同社グループとしての収益の拡大に取り組んでおります。

これらの取り組みにより、当社の連結子会社であるあかつき証券(株)の当第1四半期連結累計期間の業績は、受入手数料606百万円(前年同四半期比47.8%減)、トレーディング損益487百万円(同20.0%減)、営業利益251百万円(同64.2%減)、経常利益269百万円(同61.7%減)、四半期純利益234百万円(同61.0%減)となりました。

また、ドリームバイザー・ホールディングスグループの業績は、売上高240百万円(同109.9%増)、営業損失65百万円(前年同四半期は23百万円の損失)、経常損失70百万円(同24百万円の損失)、四半期純損失71百万円(同25百万円の損失)となりました。

以上の結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の営業収益は1,381百万円(前年同四半期比21.9%減)、営業利益は121百万円(同81.1%減)、経常利益は153百万円(同81.7%減)、四半期純利益は338百万円(同51.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2,084百万円減少し、23,740百万円となりました。これは主に、信用取引資産が2,407百万円減少したことによるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ2,154百万円減少し14,489百万円となりました。これは主に、短期社債が2,200百万円増加した一方、信用取引負債が4,000百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ69百万円増加し9,250百万円となりました。これは主に、利益剰余金が120百万円増加した一方、その他の包括利益累計額が35百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、投資金融サービスを営んでおり、事業の特性上、株式市況・為替相場・商品市況の動向により大きく影響を受ける傾向があります。このため、業績予想を公表することが株主・投資家の皆様の合理的な投資判断の形成に有用とはいえないため、業績予想の開示を控えさせていただきます。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第1四半期連結累計期間において、キャピタル・ソリューション(株)（旧あかつきキャピタルマネージメント(株)）は、保有株式の売却により持分比率が低下したため、連結の範囲から除いております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金・預金	3,830,854	5,340,584
預託金	4,577,000	4,437,000
預け金	320,783	313,834
トレーディング商品	939,300	379,727
信用取引資産	9,183,433	6,776,395
信用取引貸付金	9,155,301	6,681,509
信用取引借証券担保金	28,132	94,885
差入保証金	640,560	190,206
短期貸付金	335,391	334,244
その他	839,634	856,417
貸倒引当金	△68,863	△55,897
流動資産計	20,598,095	18,572,512
固定資産		
有形固定資産	516,190	509,283
無形固定資産		
のれん	379,366	368,476
その他	143,231	128,616
無形固定資産合計	522,597	497,093
投資その他の資産		
投資有価証券	3,475,907	3,456,555
長期貸付金	231,401	230,320
その他	768,602	764,903
貸倒引当金	△307,846	△307,763
投資その他の資産合計	4,168,066	4,144,015
固定資産計	5,206,854	5,150,393
繰延資産	19,940	17,342
資産合計	25,824,890	23,740,248
負債の部		
流動負債		
未払法人税等	116,109	22,181
賞与引当金	75,253	37,465
信用取引負債	5,648,629	1,647,700
信用取引借入金	5,564,767	1,469,279
信用取引貸証券受入金	83,862	178,421
預り金	3,874,042	4,256,126
受入保証金	807,503	853,326
短期社債	3,503,000	5,703,000
短期借入金	600,000	600,000
その他	1,143,252	525,275
流動負債計	15,767,790	13,645,075
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	200,000	200,000
退職給付に係る負債	192,060	200,774
負ののれん	135,831	101,873
その他	310,677	304,318
固定負債計	838,569	806,966

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	37,288	37,288
特別法上の準備金計	37,288	37,288
負債合計	16,643,649	14,489,331
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,238,578	3,250,995
資本剰余金	1,732,639	1,744,241
利益剰余金	3,267,839	3,388,529
自己株式	△354,679	△352,397
株主資本合計	7,884,378	8,031,368
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4,947	△40,637
為替換算調整勘定	3,737	3,750
退職給付に係る調整累計額	△7,297	△6,725
その他の包括利益累計額合計	△8,508	△43,613
新株予約権	3,989	3,989
少数株主持分	1,301,381	1,259,173
純資産合計	9,181,241	9,250,917
負債・純資産合計	25,824,890	23,740,248

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
営業収益		
受入手数料	1,149,380	582,821
トレーディング損益	438,246	489,673
金融収益	40,348	39,678
その他	141,286	268,871
営業収益計	1,769,262	1,381,045
金融費用	14,305	15,701
売上原価	91,321	165,653
純営業収益	1,663,635	1,199,689
販売費及び一般管理費		
取引関係費	10,011	6,709
人件費	607,004	575,001
不動産関係費	69,261	74,111
事務費	82,979	108,815
減価償却費	14,132	21,692
租税公課	13,527	13,555
貸倒引当金繰入額	20,283	—
その他	206,540	278,765
販売費及び一般管理費合計	1,023,742	1,078,651
営業利益	639,893	121,037
営業外収益		
負ののれん償却額	187,860	33,957
持分法による投資利益	9,840	3,202
貸倒引当金戻入額	—	12,892
その他	11,293	15,285
営業外収益合計	208,994	65,338
営業外費用		
支払利息	1,522	19,892
社債発行費	3,088	7,931
貸倒引当金繰入額	2,600	—
その他	2,001	4,769
営業外費用合計	9,212	32,593
経常利益	839,675	153,782
特別利益		
受取補償金	—	14,663
固定資産売却益	—	7,000
その他	—	2,053
特別利益合計	—	23,716
特別損失		
システム移行費用	40,000	—
訴訟和解金	8,500	7,259
その他	976	—
特別損失合計	49,476	7,259
税金等調整前四半期純利益	790,199	170,240
法人税、住民税及び事業税	80,493	32,233
法人税等調整額	—	△158,321
法人税等合計	80,493	△126,087
少数株主損益調整前四半期純利益	709,705	296,328
少数株主利益又は少数株主損失(△)	14,554	△42,207
四半期純利益	695,150	338,535

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	709,705	296,328
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,511	△37,353
持分法適用会社に対する持分相当額	6,668	2,248
その他の包括利益合計	2,157	△35,105
四半期包括利益	711,863	261,222
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	697,308	303,430
少数株主に係る四半期包括利益	14,554	△42,207

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	証券業	金融サービス関 連事業				
営業収益						
外部顧客に対する営業収益	1,596,148	109,695	63,417	1,769,262	—	1,769,262
セグメント間の内部営業収益又は振替高	13,000	4,745	—	17,745	△17,745	—
計	1,609,148	114,441	63,417	1,787,007	△17,745	1,769,262
セグメント利益又は損失(△)	702,713	△23,659	31,004	710,058	△70,165	639,893

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、個人及び企業を対象としたマイトランク事業、投資運用業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△70,165千円には、セグメント間取引消去△21,965千円、全社収益39,322千円、全社費用△85,776千円及びのれん償却額△1,746千円が含まれております。なお、全社収益は主にグループ会社からの経営指導料及び受取配当金であり、全社費用は主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	証券業	金融サービス関 連事業				
営業収益						
外部顧客に対する営業収益	1,108,231	236,368	36,445	1,381,045	—	1,381,045
セグメント間の内部営業収益又は振替高	24,000	3,854	10,969	38,824	△38,824	—
計	1,132,231	240,222	47,415	1,419,869	△38,824	1,381,045
セグメント利益又は損失(△)	251,439	△65,537	4,757	190,658	△69,621	121,037

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、個人及び企業を対象としたマイトランク事業、投資運用業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△69,621千円には、セグメント間取引消去△821,690千円、全社収益837,213千円、全社費用△89,128千円、のれん償却額△1,050千円及びその他5,034千円が含まれております。なお、全社収益は主にグループ会社からの経営指導料及び受取配当金であり、全社費用は主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 第1四半期連結会計期間より、従来の「金融情報サービス関連事業」から「金融サービス関連事業」へとセグメント名称を変更しております。なお、セグメント名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。